

12月

No.162号

昭和43年12月15日

八郷云報

発行所

茨城県八郷町役場

発行責任者 岩本佳之

印刷所 飯島印刷所

町の人口

男 14,077

女 14,557

計 28,634

世帯数 5,719

(12月1日現在)

建設事業町の基本構想決まる

10年間に明るく住みよい農村へ

田園都市建設事業の町の基本構想がまとまりました。この構想は、町の将来の目標及び今後の社会、経済の変動とともにう課題解決の方法などについて定めたものです。このすばらしい構想が、皆さんの協力によって早くきてほしいものです。なお、ここで定めた計画期間は、今後一〇年間にわたるものであります。

この田園都市建設の基本構想がまとまるまでの経過は次のとおりです。

①基礎調査を行なって、問題点を究明した

②住民の意向調査を行なった

③農業委員会に対して、営農振興施策の意見の申し立てを求めた

④農業協同組合から振興施策の考え方を聞いた

⑤学識経験者と懇談会を開いて、意見を求めた

⑥府内においては、計画樹立会議を開いて担当課から振興施策を提出させた以上のように、住民をはじめ、各種機関、団体の意見などを求めたうえで、最終的には、田園都市建設推進の考え方を決定しました。

構想への基本方針

田園都市建設の目標

- ① 環境の整備
- 八郷町田園都市の建設にあたっては、国政の動きや県の総合振興計画などとあわせて、町の自然的条件や社会経済的条件を十分に生かし、基幹産業である農業の振興により経営の安定と所得の増大を図る。
- 同時に、農業生産環境及び社会生活環境を総合的に整備して、豊かで明るく住みよい農村の建設を図ることとする。
- そのためには、次のような基本方針を皆さんに理解してもらい、積極的な支援のもとにこれらの目標を達成する方針です。
- ② 産業振興
- 人間生活の基盤である社会、生活環境をよくする
- ▽県道及び町道、とくに環状線と集落間を結ぶ道路網を完全に整備し、産業開発と交通の円滑化を図る
- ▽通信施設については、電話の自動化を促進し、あわせて有線放送についても支局の本局統合を図る
- ▽優良農耕地の確保
- ▽土地の基盤整備により、利用の高度化を図る
- ▽経営を類型別にし、集落の再整理によって土地利用の合理化を図る
- ▽国有林及び平地林の開発
- ▽農業生産基盤の整備
- ▽経営規模の拡大
- ③ 環境の整備
- 生活と生産の場の分離を基本として、経営の安定と所得の増大を図る
- ▽衛生施設の整備
- ▽作物の選択と集団化及び労働力の合理化
- ▽上部
- ▽県道の改良舗装の促進

10年後の人団と生産額

区分	現在	10年後	伸率	
総人口	28,741	29,126	1.01	
就業者	第1次産業 第2次 第3次 その他	11,145 1,371 2,510 16	9,035 2,331 3,100 —	0.81 1.70 1.24 —
生産額	第1次産業 第2次 その他	3,897,220 685,500 4,582,720	10,255,360 2,056,500 12,311,860	2.63 3.00 2.69
第1次及び第2次産業の1人当り生産額	366	1,083	3.24	
財政規模	378,417	972,532	2.57	

将来の見とおし

各産業の就業者の動きは昭和三十五年と昭和四十年を比較すると、第一次産業

（農業、林業など）で二、一七六人減り、第二次産業（建設、製造業など）は四八〇人の増、第三次産業（小売、サービス業など）においても二九六人の増である。現在の経済情勢から見て第二次、第三次産業就業者においては、このまま

町の将来を見とおした場合の人口、就業者、生産額の増減などは、これまでの資料などを基礎にして算出したところ、次のように推定されます。

人口

町の人口は、昭和三十七年に三二、〇一人、昭和四十年に二九、八七六人で、過去五年間に二、一三

年間に三二、〇一人、昭和四十年に二九、八七六人で、過去五年間に二、一三

就業者

五人が減少しており、年平均四二七人づつ減っている。今後、田園都市建設事業などの施策を積極的に実施することを考えあわせるとこのような減少は、今後五年間ぐらいつづいて、それ以降は横ばい、または除々に増加の傾向をたどるものと思われる。

生産額

これまでの多種多様の作物栽培から選択された作物栽培へとうつり、協業經營がすすむ。

そして、大麦、小麦、煙草栽培などが減少し、果樹栽培園芸、畜産業などが需要の増大につれてさかんになるであろう。これらの高

度な集約経営から当然収入が増加が見込まれる。

「注」表で現在とは昭和四十年をいい、単位は人口が人で、生産額は千円。

▽運動公園と遊園地を備えた緑地公園をつくる

河川の改修

▽水資源の確保

農業生産基盤の整備

▽農道整備と交換分合

は場整備と区画整理

▽陵線林道の整備と湯袋高原の観光施設の促進

▽建物共済推進協議会で行なっている火災保険は、安い掛金で、大きな補償をモットーに、現在、建物共済の引受け運動中です。

関連施設整備

▽河川の改修

農業生産基盤の整備

▽農道整備と交換分合

は場整備と区画整理

▽陵線林道の整備と湯袋高原の観光施設の促進

▽施設、設備の充実

付属幼稚園の設置

▽体育館及びプールの設置

田園都市建設の基本

▽田園都市建設の基本

▽公園、墓地など葬祭施設の整備

福祉施設の整備

▽児童、女子、老人福祉を中心とした施設の整備

医療施設の整備

▽住民が健康で、文化的な生活を営むことができるよう、総合病院をつくる。

▽レクリエーション施設の整備

教育施設整備

▽小学校の危険校舎の新改築と統合の推進

農業生産基盤の整備

▽農業生産基盤の整備

▽施設、設備の充実

施設、設備の充実

▽部落集会所の整備を促進する

協同化と機械化の促進

▽協同化と機械化の促進

▽屋敷内の排水処理施設の整備

防火施設の整備

▽生命、財産の保護と防火

体制の確立のため、消防施設を整備する。

▽協同化と機械化の促進

生産施設共同化の推進

▽生産施設を屋敷のそとに

共同化などを整備する。

以上が町の将来に対する考え方、経営及び作業の共同化とあわせて、生産施設の移すようにする。このためには、労働とか生産などを考え、経営及び作業の共同化などを整備する。

協同化と機械化の促進

以上が町の将来に対する

後継者づくりに「親子契約」

すでに125組が実行しています



契約中で視察者の多い上曾の市村さん

皆さんがすでに「親子契約」「父子協業協定」「家族協定農業」などの名称で、見たりしていると思います。

すでに、町でも都会に流出する青年たちを引きとめ、優れた農業後継者を育成するため推進中であり、現在

一二五戸の協定農業が結ばれています。学校を卒業してまもない青年や、農業を営む人から「親子契約」についての質問が非常に多くなっています。そこで、意義などについて書いてみました。

農業の問題点

③農業資産と経営の細分化
④親の老後に安心を
⑤近代的な自立経営

②地主の確保
③目的とするもの

①農業従事者に適正な労働
と報酬

②経営への責任ある参加と
③だれがするのか

④農業の問題点

①農業従事者に適正な労働
と報酬

②地主の確保
③目的とするもの

に「親子契約」、「父子協業協定」などの名称で、見たりしていると思

うと思います。

すでに、町で

も都会に流出する

青年たちを引

きとめ、優れた農業後継者を育成するため推進

中であり、現在

一二五戸の協定農業が結ばれています。

すでに、町で

も都会に流出する

青年たちを引

きとめ、優れた農業後継者を育成するため推進

中で約束が不明確になります。また時間がたつにつれて責任感がうすくなったりして、結局協定をしないのと同じことになってしまい可能性があります。このため、契約事項については納得のゆくまで話し合ったことを文書でつくり、できれば第三者に立合ってもらつて、署名捺印しておこうことがあります。

ぐりのため、あらゆる方法を打ち出しています。おもな仕事としては

くことあとに問題を残さないことがあります。

部門契約が最高

十二月一日現在の契約をみますと、部門契約が六戸、經營譲渡契約三四戸、

こづかい契約一七戸、賃金

契約一三戸、合計一二五戸となっています。とくに、部門契約では、

酪農、養豚、ハウス園芸、

養鶏、果樹などがあげられます。



【保健衛生課】

保健衛生課は、名前

とおり、町民の健康を守

り、生活環境における衛

生思想の普及と徹底を図

ることを目的としていま

す。

保険行政、衛生行政の

範囲は広いが、つねに町

民とともに進み、健康増

進のため、そして環境づ

けのため、町内に

住んでいる者

とおり、町民の健康を守

り、生活環境における衛

生思想の普及と徹底を図

ることを目的としていま

す。

保険行政課は、名前

とおり、町民の健康を守

り、生活環境における衛

生思想の普及と徹底を図

ることを目的としていま

健康と環境づくりを推進

妊娠婦の治療費は全額もつ

ですから、ぜひ受けてくれださい。

また成人病（高血圧）

の予防と相談、病気の多い世帯の調査訪問に保健

婦が活動しています。連絡していただければうかがいます。

健康保険証を使わないで、医師にかかるときは、医師の診断書、領収書、それ

に報酬請求明細書を提出し

ていただけば、現金給付が受けられます。

妊産婦の十割給付も実施

されています。妊娠したかた

で、母子手帳を受けてから

健康保険証を使わないで、医師にかかるときは、医師の診断書、領収書、それ

に報酬請求明細書を提出し

ていただけば、現金給付が受けられます。

妊産婦の十割給付も実施

されています。妊娠したかた

で、母子手帳を受けてから

健康保険証を使わないで、医師にかかるときは、医師の診断書、領収書、それ

に報酬請求明細書を提出し

ていただけば、現金給付が受けられます。

妊産婦の十割給付も実施

されています。妊娠したかた

で、母子手帳を受けてから

健康保険証を使わないで、医師にかかるときは、医師の診断書、領収書、それ

に報酬請求明細書を提出し

ていただけば、現金給付が受けられます。

妊産婦の十割給付も実施

論文のテーマ

「二〇歳になって考えたこと」「成人式を迎えたこと」「選挙権と私たちは義務」「新有権者となつて」「有権者となつた私の抱負」

などが、毎月二日から昭和二十四年四月一日までに生まれた者で、町内に住んでいる者

と申します。ふるって応募してください。

用紙五枚以内

締め切り 昭和四十四年十一月十日

提出先 役場総務課内選挙管理委員会をもうけて行ないます。審査員は町長ほか七名を予定

発表します。また、広報紙にも掲載するとともに入選者には別に通知します。

有線放送使用料

12月の納税

固定資産税 第3期

国民年金保険料

10、11、12月分

意欲ある作品をまつています

新しく成人式を迎える皆さんから、意欲ある懸賞論文を左記要項により募集中です。

意欲ある作品をまつてください。

有明中
校長 滝田宣好

鳥と同じように空をとべたら、どんなにゆかいだらうという夢は、いつか飛行機をつくりだし、それもひとり乗りのプロペラ機からたちまちのうちに、音速をこえる巨大ジェット機まで進んできた。また、長い間文学作品の素材として物語られてきた月が、現実に地球から人間が行ける時代となってきた。

このような科学の発達のめざましい時代に、児童生徒の教育をどう考えらるべきであろうか。第一に、人間機械をつくるのではなくて、機械をつくりだし、あるいは機械を使う人間を育てるのです。たとえば、今まで数学において、数の計算のしかたを覚えることに骨を折ってきた。もちろんこれがいらないというのではないが、これからは電子計算機が人間よりも正確に計算してくれるのでは、おのずから人間がやる必要の限度がある。それよりも、なんのために計算すればよいのかということを考えるようにならねばならないと思います。これは社会科においても理科においても同じことです。つねにくふう創造の活動を重視し、考える力をねるようにしてください。

第二には、学校においても家庭においても、学習は自主的計画的なものにならなければいけないと思います。子どもはなんらかのかたちで自己の欲求をもってきます。珍しいものを見たい、ききたい、さわってみたい、というような欲求が自主性の芽生えであり、たいやせつな基礎なのです。その欲求が達せられたとき、子どもには喜びがあります。それをつづけさせながら自分の欲求がみんなの納得できるものになるよう指導することです。このようにして子どもの欲求(意欲)があるとき、自主的学習となり、はじめて創造的な活動もできるのです。強制されるような宿題がなければやらない子どもでなく、自ら計画をたてて進むようにしむけることです。

第三に現代の子どもには根性がないといわれます。なぜそうなのかを考えることができます。前からは依頼心の強い子どもができます。自分の意志で判断して実践する力がのびません。後者からは、きわめて自分勝手ながままな落ちつきのない子どもができます。

学校教育は、児童生徒が先生から離れて、自分の考えで、社会にたって、職業を通して幸福な生活ができます。複雑になっていく将来の社会に、自己を失わずに自分の道を開いていくためには、教育に対する考え方を反省してみることが必要だと思います。

これからの教育

盛大だった消防操法競技大会

第2分団、全種目に優勝

練習を重ねて
の出場のため
ほとんど差が
なく、優劣は
つけがないほ
ど。真剣に操
法競技に取り組む選手の態度に、応援す
る団員からさ
かんに拍手が送られた。

購入図書案内

- ▷科学パズル—田中実
- ▷歴史パズル—吉岡力
- ▷何人生んでどう育てるか—石垣純二
- ▷映画、テレビ、風物誌—山田宗睦
- ▷問題児—高木四郎
- ▷私の生き方、考え方—松下幸之助
- ▷台所食事室のプラン—菅原文子
- ▷一分間体操—坂垣了平
- ▷現代結婚一切の心得—大原勇三、大原恵美子
- ▷石狩平野—船山馨
- ▷ツルのおんがえし—藤沢衛彦
- ▷動物会議—高橋健二訳
- ▷大笑い脱線ゲーム—大岡哲郎
- ▷クレージードクターの回想—なだいなだい
- ▷三人の0点君—日本児童文学者協会編
- ▷日本のハイウェー—武田文夫
- ▷ヴィーナスの汗—嘉門安雄
- ▷錢と女—佐賀清
- ▷青空の如く—山手樹一郎
- ▷あの墓を掘れ—島治郎
- ▷人間を売る—黒岩重吾
- ▷猛烈に不幸な朝—笛沢佐保
- ▷窓ガラス女—川口松太郎
- ▷新史太閤記(前後)—司馬遼太郎
- ▷チョコレート戦争—大石真
- ▷コラーサ号の冒險—鹿島郁夫
- ▷くるま椅子の歌—水上勉
- ▷酒場の果汁—沢野久雄
- ▷朝焼け富士—山手樹一郎
- ▷祇園育ち—安藤孝子
- ▷愛のもだえ—北原武夫
- ▷おもろい夫婦—笠原良三
- ▷農村は変わる—並木正吉
- ▷農村の計画—渡辺兵力



十一月二十二日、町の消

防操法競技大会が、八郷公民館グランドで盛大に開かれました。

この大会で、自動車ポンプの部と可搬動力ポンプの部の二種目に第二分団(小幡)が優勝しました。

当時は、晴天に恵まれ、多数の来賓の見守るなかで各分団から二チームづつ、合計一六チームが参加して操法の技を競った。

午前九時開会、優勝杯の返還、大会長あいさつ、来賓の祝辞、審判長の注意などがあって、十時から競技を開始した。

まず、可搬動力ポンプの部から開始し、つづいて自動車ポンプの部が行なわれたが、各チームとも練習に

始まりました。

午前九時十分、関鉄営業部の二種目に第二分団(小幡)が優勝しました。

この大会で、自動車ポンプの部と可搬動力ポンプの部の二種目に第二分団(小幡)が優勝しました。

当時は、晴天に恵まれ、多数の来賓の見守るなかで各分団から二チームづつ、合計一六チームが参加して操法の技を競った。

午前九時開会、優勝杯の返還、大会長あいさつ、来賓の祝辞、審判長の注意などがあって、十時から競技を開始した。

まず、可搬動力ポンプの部から開始し、つづいて自動車ポンプの部が行なわれたが、各チームとも練習に

始まりました。

午前九時十分、関鉄営業部の二種目に第二分団(小幡)が優勝しました。

この大会で、自動車ポンプの部と可搬動力ポンプの部の二種目に第二分団(小幡)が優勝しました。

当時は、晴天に恵まれ、多数の来賓の見守るなかで各分団から二チームづつ、合計一六チームが参加して操法の技を競った。

郡大会で惜敗

ピストル合団にいっせいにスタートする選手たち



試歩に明るくもえたつ希望校もさ庭の菊日和
葉牡丹のかごめる湖しづしづと冬陽落ちゆき鶯一羽舞ふ
歳末の売出し告ぐるメロディの流れる街を急ぐ夕ぐれ
ようやくに歩み始めし幼子がにこやかに足をしつしつ運ぶ
娘二人を進学させて母は夜寒を手内職 金指 関口 双峰
半田 原田 晴耕

枝柿をさげて花嫁バスを待つ 真家 山下桂州
桔梗や葉とんとすれば猶匂う 上曾岡野 孝男 治
訪ひば視野ことごとく霜枯れて 東山崎 荒井岳山
文
俳句 増子海哉選
短歌 吉田次郎選
俚謡 林嶺月選

文
俳句 増子海哉選
短歌 吉田次郎選
俚謡 林嶺月選

が悪くなります。
浴そうの水面になかぶたとしてビニールなどを浮かべておきますと、水面から熱を逃がさず、わきが早くなります。燃料費も三分の一くらいです
むということです。
とぎれとぎれに入浴する家庭や、翌日洗たくするときなどに、たいへん役立ちます。なお、市販されている風呂シートも

くらしのアモ

お正月の
松・竹・梅